



家族そろって

青少年「鯉のぼり
フェスティバル」

きょう（五月九日）は、待ちに待った「鯉のぼりフェスティバル」。会場の一関市釣山公園が、市内の子どもたちに「子どもの森」として開放された。

竹馬やかんげたなどの伝承遊び、レインジャーばりの冒険の村、らくがきコーナーなどに親子そろって大はりきり。

この行事は、子どもの日になんて、

一関世代にかける橋やたぬきの会などの

青少年団体と、県青少年育成県民会議の

共催で行われたもの。

県では、このような行事を通して、青少年の健やかで心豊かな成長と青少年団体の自主的な活動を助長しようと、毎年、春と秋の年二回、県内各地で各種の青少年まつりを実施している。

今回の青少年まつりには、一関市内の子どもたち約七千人が参加。青空のもと歓声を響かせながら、楽しい一日を過ごしていた。

